

保護者の皆様

上田市立第四中学校長 宮澤 好一

令和4年度 学校自己評価（最終報告）

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本年度の教育活動について、保護者の皆さまにもアンケートにご協力いただき、ありがとうございます。その結果を考察し、指導改善の方向を以下のように考えました。今後も生徒のさらなる成長を、教職員全員で支援していく所存です。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「四中学びスタイル」の定着から、 さらに主体的な学びへ

授業の約束や、時間を守って学習に取り組んでいると感じている生徒は、前期・後期ともに90%を超え、全校で取り組んできた「四中生学びスタイル」が定着してきたといえます。授業の内容をおおむね理解していると回答している生徒が、年間通して85%と高い評価が出ており、毎日の授業や学習が充実してきたと評価することができます。更なる向上を目指し新たな「四中学びのスタイル」を作っていきます。

また、授業の様子も様変わりしてICT機器や一人一台端末の利用が、友と考えを共有したり、発表やまとめたりする学習に生かされていると感じる生徒が80%となっています。

さらに、職員も研修・授業研究を重ね、タブレット端末の有効利用を考えていきたいと思えます。それと並行して、生徒の活用におけるモラルについて、指導をしていきたいと考えています。是非、ご家庭でも一緒に考える機会を作り、適正に利用する力を身に付けていけるようご支援をお願いいたします。



学校へ行くのが楽しみ

学校へ行くのが「楽しみ」と回答した生徒が前期・後期ともに70%程度でした。楽しみにしている教科(授業)があると回答している生徒もおよそ83%おり、多くの生徒が学校生活に楽しみや、やりがいを感じている実態が伺えました。

しかし、四中では、学校へ行くのが楽しみと感じている生徒を80%以上にしたいと考えており、目標には届いていません。さらに向上させるために、クラス活動や生徒会、授業や部活動などで生徒が活躍する機会を増やしていきます。

また、先生は相談にのってくれると感じている生徒が83%いる良さを生かして、教育相談等で生徒の声を聞き、生徒自身が課題を解決していく力を伸ばす支援をしていきたいと思えます。来年度もできる限り、生徒がやりがいや楽しみをもち、学校生活が送れるよう取り組んでいきます。



「自分の良さ」や「友の良さ」を理解し、 生活に生かそうとしている

自分や友のよさを理解し、学校生活でいかそうとしていると感じている生徒が、80%に達しています。このことは本校生徒の大きな特徴で、学校生活や自分たちを大きく伸ばしていく可能性を秘めた、素晴らしい傾向だと思えます。学校でもご家庭でも、その良さを自覚させ、さらに伸ばしていきたいと思えます。

昨年度より導入した「学年担任制」については、まだまだ改善していく必要があると考えています。一人の生徒を複数の職員で支えるよさを生かし、情報共有のあり方や、生徒の居場所作りなど、誰もが安心して過ごせる学校運営を目指していきます。また、家庭との連携や対応につきましては、一定の評価をいただいております。これからも、生徒の良さを積極的に本人や保護者の方に伝えていくことで、自分や友のよさを高められるような指導を続けてまいります。

四中プライド「あいさつ」

「あいさつ」について、自分からすすんでできると回答した生徒は、年間を通じて80%以上とよく取り組んでいます。保護者も四中生のあいさつは70%が良いと感じています。職員についても同様です。

また、学校運営協議会の方からも「校舎内であったときのあいさつが素晴らしかった」とお褒めの言葉をいただきました。

四中生のよさとして生徒に自覚させるとともに、生徒会の活動と連携してあいさつの機会や、質を高められるように活動を進めていきます。ご家庭や地域の方々の協力をよろしくお願いいたします。

